

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月28日

上場会社名 株式会社グローセル 上場取引所 東
 コード番号 9995 URL https://www.gloسل.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 上野 武史
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営企画部長 (氏名) 竹井 達也 (TEL) 03-6275-0600
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	16,141	3.3	427	312.3	561	362.0	415	-
2022年3月期第1四半期	15,619	19.8	103	-	121	-	△216	-

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 820百万円(-%) 2022年3月期第1四半期 △201百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	16.84	-
2022年3月期第1四半期	△8.88	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	40,580	22,812	56.2	922.39
2022年3月期	38,682	22,280	57.6	903.01

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 22,812百万円 2022年3月期 22,280百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	12.00	12.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期(予想)	-	0.00	-	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,500	△4.2	290	△6.7	310	△14.5	230	-	9.32
通期	65,000	△3.4	755	△20.8	750	△37.5	570	-	23.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1Q	26,426,800株	2022年3月期	26,426,800株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期1Q	1,694,975株	2022年3月期	1,753,245株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期1Q	24,688,123株	2022年3月期1Q	24,350,013株
------------	-------------	------------	-------------

期末自己株式数には株式付与E S O P信託及び株式給付信託分(2023年3月期1Q1,321,610株、2022年3月期1,379,880株)を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2023年3月期 第1四半期決算短信」より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の世界経済環境は、中国での新型コロナ感染拡大による影響に加え、ロシアのウクライナ侵攻を起因としたエネルギーや原材料の価格上昇、急速なインフレ進行などにより不透明感を増しております。国内経済は、新型コロナの感染者数の減少による観光需要の回復などがありましたが、ウクライナ情勢の悪化や円安進行による物価上昇圧力が強まるなど依然先行きは不透明な状況です。

半導体市場におきましては、経済活動の回復により、インフラ設備投資、自動車用途など広範囲にわたって需要は堅調に推移しており、2022年5月の世界半導体売上高は前年同月比18.0%増となり、2020年2月から28ヵ月連続で前年同月実績を上回っております。

当社主要販売先である自動車分野、産業分野におきましては、自動車分野は半導体不足や中国生産部品の供給遅れなどの影響により、2022年4-6月期の国内新車販売台数は前年同期比14.1%減、また、米国新車販売台数も前年同期比23.2%減となりました。産業分野の2022年5月のインバータ・サーボモータ等の国内産業用汎用電気機器の出荷金額は、部品調達難による影響により一部製品は前年同月比減となりましたが、全体では前年同月比1.2%増となり、2021年1月から17ヶ月連続で前年実績を上回っております。

このような環境の下、当第1四半期連結累計期間は、集積回路は特に自動車分野を中心に需要が堅調に推移し、前年同期比281百万円増(3.0%増)の9,701百万円、半導体素子は産業分野の商流変更の影響により、同616百万円減(22.6%減)の2,107百万円、表示デバイスはOA分野での好調により、同90百万円増(20.6%増)の530百万円、その他はEMS関連が大幅に増加し、同766百万円増(25.3%増)の3,802百万円となりました。その結果、売上高は同521百万円増(3.3%増)の16,141百万円となりました。

売上原価は前年同期比366百万円増(2.6%増)の14,320百万円。売上高に対する売上原価の比率は、販売製品構成の変化により、前年同期に比べ0.6ポイント減少し88.7%となり、売上総利益は売上高増加により同155百万円増(9.3%増)の1,820百万円となり、売上高に対する売上総利益の比率は前年同期に比べ0.6ポイント増加し11.3%となっております。

販売費及び一般管理費は、総人件費の減少等により前年同期比168百万円減(10.8%減)の1,393百万円となりました。売上総利益の増加と販売費及び一般管理費の減少の結果、営業利益は前年同期比323百万円増(312.3%増)の427百万円、経常利益は為替差益の増加なども寄与し、同439百万円増(362.0%増)の561百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は415百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失216百万円)となりました。

連結業績の推移

(単位：百万円)

	2022年3月期				2023年 3月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
売上高	15,619	16,228	18,235	17,174	16,141
営業利益	103	207	568	73	427
経常利益	121	241	659	177	561

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、前連結会計年度末に比べて1,897百万円増加し40,580百万円となりました。

これは、主として売掛金が1,169百万円減少したものの、商品及び製品が2,604百万円増加し、現金及び預金が483百万円増加したことによります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて1,366百万円増加し17,767百万円となりました。

これは、主として長期借入金が68百万円減少したものの、買掛金が854百万円増加し、短期借入金が684百万円増加したことによります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて531百万円増加し22,812百万円となりました。

これは、主として為替換算調整勘定が431百万円増加し、利益剰余金が103百万円増加したことによります。
これにより自己資本比率は56.2%となり、時価ベースの自己資本比率は24.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間における業績は当初見通しを上回る結果となっておりますが、現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、2022年5月16日に発表しました、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,625	3,108
受取手形	20	0
売掛金	14,329	13,160
電子記録債権	1,731	1,587
商品及び製品	15,734	18,339
原材料	16	29
仕掛品	14	27
その他	261	436
流動資産合計	34,733	36,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	726	727
減価償却累計額	△568	△573
建物及び構築物(純額)	157	154
工具、器具及び備品	248	262
減価償却累計額	△215	△232
工具、器具及び備品(純額)	32	30
土地	817	817
リース資産	154	155
減価償却累計額	△97	△99
リース資産(純額)	56	56
その他	0	0
有形固定資産合計	1,064	1,058
無形固定資産		
ソフトウェア	94	88
その他	33	52
無形固定資産合計	127	141
投資その他の資産		
投資有価証券	1,908	1,873
繰延税金資産	46	43
その他	822	799
貸倒引当金	△21	△25
投資その他の資産合計	2,755	2,690
固定資産合計	3,948	3,889
資産合計	38,682	40,580

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,784	7,638
短期借入金	6,916	7,601
1年内返済予定の長期借入金	233	233
未払法人税等	122	95
賞与引当金	-	149
その他	1,118	865
流動負債合計	15,175	16,583
固定負債		
長期借入金	634	566
退職給付に係る負債	232	237
株式給付引当金	152	165
繰延税金負債	62	115
その他	144	100
固定負債合計	1,226	1,184
負債合計	16,401	17,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,042	5,042
資本剰余金	4,720	4,720
利益剰余金	12,506	12,610
自己株式	△781	△757
株主資本合計	21,487	21,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14	△37
為替換算調整勘定	789	1,221
退職給付に係る調整累計額	17	13
その他の包括利益累計額合計	792	1,197
純資産合計	22,280	22,812
負債純資産合計	38,682	40,580

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	15,619	16,141
売上原価	13,954	14,320
売上総利益	1,665	1,820
販売費及び一般管理費	1,562	1,393
営業利益	103	427
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	25	31
販売手数料	36	2
受取派遣料	3	13
為替差益	-	105
その他	20	16
営業外収益合計	87	170
営業外費用		
支払利息	10	20
支払補償費	-	11
債権売却損	4	3
シンジケートローン手数料	0	0
為替差損	41	-
その他	13	0
営業外費用合計	69	36
経常利益	121	561
特別損失		
貸倒引当金繰入額	-	4
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	5
税金等調整前四半期純利益	121	555
法人税、住民税及び事業税	31	68
法人税等調整額	305	70
法人税等合計	337	139
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△216	415
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△216	415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	△22
為替換算調整勘定	55	431
退職給付に係る調整額	△16	△4
その他の包括利益合計	14	404
四半期包括利益	△201	820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△201	820

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。